SK SATO

# 防水型デジタル温度計

（専用プリンタ出力付）

MODEL SK-1260

# 取扱説明書

SATO KEIRYOKI MFG.CO.,LTD.

## ー はじめに ー

このたびは防水型デジタル温度計SK-1260をお買いあげいただきありがとうございました。

- この商品は、温度をはかるものです。それ以外のご使用はしないでください。
- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、大切に**保存**してください。

## 概 要

本器はセンサとしてサーミスタプローブ（専用）または熱電対（K）プローブ（専用）を接続できる防水型デジタル温度計です。本体に温度値を記憶する事が可能であり、更に専用プリンタ（オプション）で印字する事ができます。

## 特長

- **防水機能**
  本体・プローブ部接続状態でJIS C 0920「電気器具の防水試験及び固定物の侵入に対する保護等級」における防水保護等級IPX4に準拠した防水構造になっております。ぬれた手で本体を触ったり、水滴がかかっても機能に支障はありません。各種の設定により、手動及び自動記憶ができます。
- **プリンタ出力付き**
  専用のプリンタに出力することができ、本体に記憶したデータを印字することができます。
- **本体・センサプローブ完全互換**
  サーミスタセンサプローブ及び熱電対(K)プローブ共に互換性があります。
- **最高・最低温度のアラーム設定**
  最高・最低温度のアラーム設定ができます。(本体内蔵の電子ブザーでお知らせします。)
- **通常記憶(マニュアル記憶)・自動記憶(オート記憶)**
  本体の設定によりマニュアル記憶とオート記憶の設定ができます。詳しくは本説明書「記憶モードの説明」をお読みください。

## ⚠ 警告

SK-1260は防爆仕様構造ではありませんので、引火性ガスを含んだ雰囲気でのご使用は絶対にしないでください。

**爆発注意**
**爆発する恐れがありたいへん危険です。**

- ご不明な点がありましたらお買い上げ店または弊社サービスネットワークにご相談ください。

# 目次


各部の名称と働き ……1
ご使用方法 ……3
保管のしかた ……4
乾電池の入れ方 ……5
センサプローブの接続 ……6
プリンタ端子、ACアダプタ
ジャックの接続 ……7
操作の流れ ……7

**一般的な温度測定のしかた**

温度測定のしかた ……10
HOLD／REL機能 ……11
MAX／MIN機能 ……12
オートパワーオフ機能 ……13

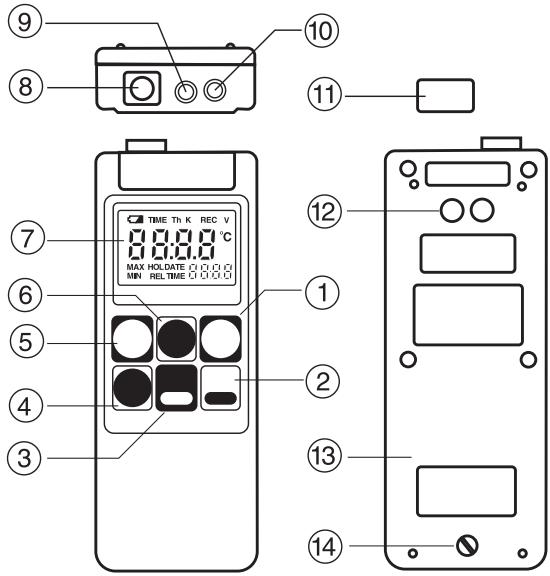
**データ記憶温度測定のしかた**

各種設定モードについて …14
時計設定 ……14
記録インターバル設定 ……15
管理ナンバー設定 ……15
マニュアル記憶 ……16
オート記憶 ……17

**記憶データのプリンタ印字方法**

本器とプリンタ接続 ……20
プリントアウトの方法 ……20
マニュアル、オート記憶印字例…21
本器のエラー表示について …22
オプションセンサのご紹介 …22
その他のオプション ……23
仕様 ……24
保証規定・保証書 ……26
サービスネットワーク ……27

# 各部の名称とはたらき




① POWERキー
- 本器の電源をONにしますとピーというブザー音が鳴ります。もう一度押すと電源がOFFになります。
- 本器の電源がONの状態で以下の操作を行うと、各種モードに移行します。
- HOLD／RELキーと同時に押す事で「記録インターバル」が設定できます。　(P.11参照)
- TIMEキーと同時に押す事で「時計設定モード」になります。　(P.14参照)
- MAX／MINキーと同時に押す事で「管理ナンバー設定 モード」になります。　(P.15参照)
- SET／CLEARキーを同時に押しつぎにSET／CLEARキーのみ押すと、記憶ファイルがクリアとなります。

② HOLD／RELキー
- 通常測定モード時に本キーを押すと温度指示値をホールド(固定)する事が出来ます。
- ホールドモード時に本キーを押すとREL(変化量)測定モードに入ります。
- REL(変化量)測定モード時に本キーを押すと通常測定モードに戻ります。

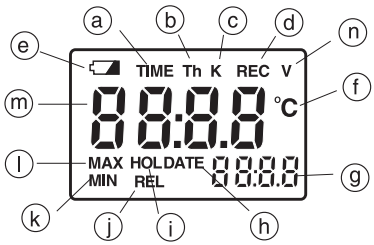
③ MAX／MINキー
- 通常測定モード時に本キーを押しますと、最高・最低記憶の値が表示されます。　(P.12参照)
- SET／CLEARキーとMAX／MINキーを同時に押すことで最高・最低温度の設定ができます。　(P.12参照)

④ SET／CLEARキー
・本器に記憶された最高／最低温度メモリをクリアすることができます。

⑤ TIMEキー
・本器の電源がONの状態でPOWERキーと同時に押す事で「時計」設定モードになります。
・通常測定モードの時、本キーを押すと設定時間が表示されます。 (P.14参照)

⑥ REC／PRINTキー
・通常測定モード時に本キーを押すと、マニュアル記憶モードになります。 (P.16参照)
・通常測定モード時に本キーとMAX／MINキーを同時に押す事でオート記憶モードになります。 (P.17参照)
・本器が電源ONのときにPOWERキーと同時に押すことで記憶されたデータを専用のプリンタに印字することができます。 (P.20参照)

⑦ 液晶表示部
・測定温度値、各種設定情報およびキャラクタを表示します。




ⓐ時計設定時に点灯します。
ⓑサーミスタセンサプローブを接続した時点灯します。
ⓒ熱電対(K)センサプローブを接続した時点灯します。
ⓓデータの記憶中点灯します。
ⓔ電池容量が少なくなりますと点灯します。
ⓕ計測単位キャラクター
ⓖサブ7セグメントLCD
ⓗDATE-日付設定時に点灯します。
ⓘHOLD-測定値のホールド中に点灯します。
ⓙHOLDでの変化量を表示中に点灯します。
ⓚ最低測定値の表示中および最低温度設定する際に点灯します。
ⓛ最高測定値の表示中および最高温度設定する際に点灯します。
ⓜメイン7セグメントLCD測定値などを表示します。
ⓝ最高・最低温度設定時点灯します。

⑧ センサコネクタ
・専用のサーミスタセンサプローブまたは専用の熱電対(K)センサプローブを接続します。

⑨ プリンタコネクタ
・専用のプリンタ接続ケーブルを差し込みます。

⑩ ACアダプタジャック
・専用のACアダプタプラグを差し込みます。

⑪ ジャック防水カバー
・防水性「保護等級IPX4」を必要とするフィールドで温度測定を行う場合、プリンタコネクタ部及びACアダプタジャック部に取り付けてください。

⑫ ジャック防水カバーホールド部
・専用のプリンタケーブルを接続するときまたはACアダプタをご使用するときはジャック防水カバーを外して、ホールド部にカバーを取り付けてください。

⑬ 電池蓋 ⑭ 電池蓋固定ねじ

## ⚠ 使用上の注意

本器を正しくご使用していただくために、以下のことを必ず守ってください。

- 体温計としてご使用しないでください。
- 本器は精密にできていますので落下させたり、衝撃を与えないでください。
- 分解、改造しますと故障の原因となりますので絶対にしないでください。
- 水中でのご使用はしないでください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近くでのご使用はしないでください。ケースの変形や故障の原因となります。
- 電気的ノイズが発生する環境でご使用しますと、表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。
- センサコードを無理に引っ張ったり、曲げたり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱などや傷つけ加工しますとコードが損傷します。
- 長期間使用しない場合は、必ず乾電池を取り外してください。入れたままにしておきますと乾電池から液漏れする場合があり故障の原因となります。
- 本器をアルコール、シンナー、その他溶剤で洗ったり、ふいたりしないでください。また、水洗いもしないでください。汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませたタオルなどを、よくしぼってからふいてください。
- 本センサは防水型デジタル温度計「SK-1260」専用センサです。他の温度計やパソコン等への接続は絶対に行わないでください。
- 本体を固定しているネジ(6カ所)を、ゆるめたり、増締めをしないでください。防水性を損ないます。

● 測定範囲をお守りください。測定範囲外でのご使用は故障・破損の原因となります。高い温度を測定する場合には、やけどにご注意ください。また高い温度の測定終了後はセンサのステンレスパイプ部分が熱くなっていますので、充分に温度が下がってから保管してください。先トガリ型センサの先端部は測定物に突きさしやすいようにとがっております。思わぬけがをする恐れがありますので、取扱いには充分ご注意ください。

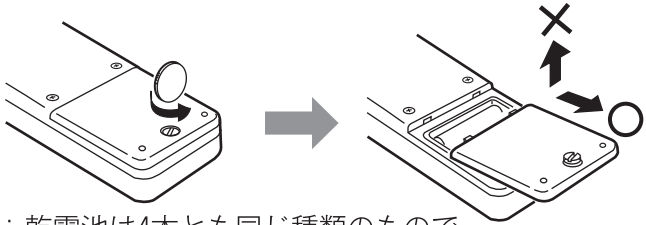
◎修理、校正はお買いあげ店、または弊社サービスネットワークへお申し付けください。

## 保管のしかた

・自動車内などに放置すると、真夏の炎天下では極度の高温になり、本器を故障させることがあります。このような場所には放置しないでください。

## 乾電池の入れ方

1）本体裏面の電池蓋下のネジ頭部を**マイナスドライバー**または、**コイン**等で反時計方向に回してゆるめはずします。
電池蓋の両サイドを手で持って下方向に引き出して下さい。



注意：乾電池は4本とも同じ種類のもので、
すべて新しいものをご使用ください。

2）**乾電池収納部の表示にしたがって、乾電池の向き⊕⊖を間違えないように単4形乾電池を4本セットしてください。**

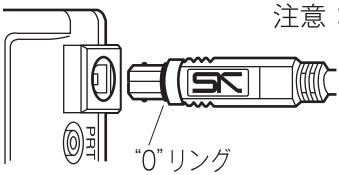
3）電池蓋を開けたときと逆の手順で電池蓋を閉め、ネジで固定してください。
注意：電池蓋を開けたとき、黒い防水ゴムがはずれた場合は、本体側の溝に防水ゴムを入れてください。電池蓋はしっかり取付けてください。取付けが不十分ですと防水性を損ない、水などが入り故障の原因となります。
：黒い防水ゴム部に水滴が付着した場合は必ず水滴を除去してください。

4）電池消耗警告機能（ローバッテリーマーク）
電池容量が残り少なくなると点灯します。
①正常状態：　電池交換警告マーク表示なし
②残量低減予告：電池マーク静止点灯（電池消耗予告）
③電池交換警告：電池マーク低速点滅（電池寿命限界状態）
④即時交換警告：電池マーク高速点滅（測定不可状態）
（ブザーが1分おきに1秒間鳴ります。）

5）電池交換時は必ずPOWERキーをOFFにしてから、取り替えてください。
注意：POWERキーをOFFにしないで電池を交換しますと、すべてのデータがクリアされます。

## センサプローブの接続

センサプローブのプラグを本体コネクタソケットの穴に差し込み、クリック感触があるまで、しっかり奥まで固定してください。




注意：左図のようにSKマークを本体のディスプレイ及び操作面側に合わせ、最後までしっかり取付けてください。取付けが不充分ですと防水性を損ない、故障の原因となります。

### ⚠ 注 意

※USB対応製品ではありません。センサプラグをパソコン周辺機器に絶対に差し込まないでください。

※必ず電源OFF状態でセンサプローブの抜き差しを行ってください。電源ON状態でセンサプローブを抜き差しをしますと、故障の原因となります。

## プリンタ端子、ACアダプタジャックの接続

注意：ご使用しないときは、必ず防水カバーを取付けてください。

## 操作の流れ

- 本器を有効にご使用いただくために使用方法を3つに大別し操作の流れを説明します。

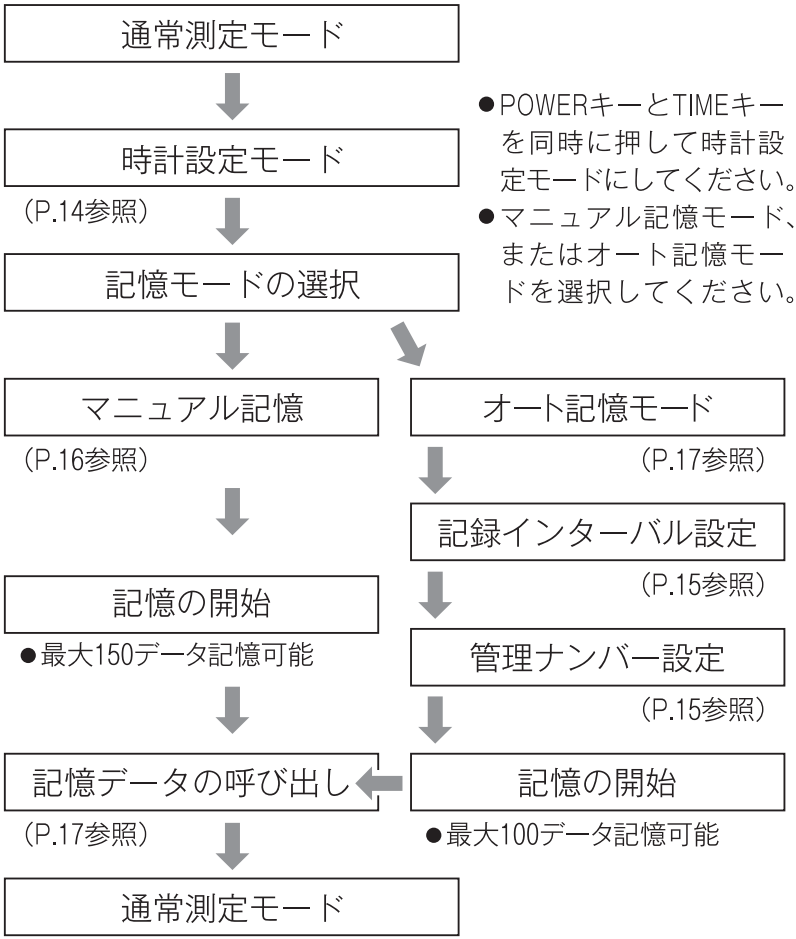
### (1) 一般的な温度測定

電池収納部に電池を入れます
(P.5参照)
↓
センサを本体に接続します
(P.6参照)
↓
POWERキーを押し電源をいれます
(P.10参照)
↓
温度測定が可能です
(P.10参照)
↓
HOLD／REL・MAX／MIN機能
(P.11.12参照)

- 単4形乾電池4本またはACアダプタ(オプション)
- 特に熱電対(K)センサの場合約10分間位は測定環境になじませてください。
- 1秒以上押してください。温度が表示されます。
- 通常測定モードです。
- 測定温度範囲内で行ってください。

(2) データ記憶温度測定（マニュアル記憶モード・オート記憶モード）

記憶データは本器表示部にて再表示･確認が行えます。




※再度記憶モードにするときは、記憶されたデータを消去しなければなりません。POWERキーとSET／CLEARキーを同時に押して、つぎにSET／CLEARキーのみ押してください。
データが消去されます。

### (3) 記憶データのプリンタ印字

記憶データを専用プリンタ(オプション)に印字します。

記憶データあり

↓

本器にプリンタケーブルを接続します

(P.20参照)

↓

プリントアウト開始

↓

プリントアウト終了

●本器とプリンタの電源OFFを確認の上、接続ケーブルにて接続します。

●本器とプリンタの電源を入れ、POWERキーとRECキーを同時に押してください。プリントアウトが開始します。

●本器とプリンタの電源を切り、接続ケーブルをはずしてください。

※再度記憶モードにするときは、記憶されたデータを消去しなければなりません。POWERキーとSET／CLEARキーを同時に押して、つぎにSET／CLEARキーのみ押してください。
データが消去されます。

## 一般的な温度測定のしかた

### 温度測定のしかた

1）本器とセンサプローブを接続してください。
2）POWERキーを**1秒以上**押しますと、ブザーとともに表示部に全表示テストパターン等約5秒間現れ、その後現在温度測定値が表示され、通常測定モードになります。
- 30分間キー操作がないと、オートパワーオフ機能が作動し自動的に電源が切れます。

3）差し込みセンサで厳密な温度測定を行う場合は、気体・液体・半固体を問わずセンサ保護管の先端から保護管の直径のおよそ15倍の長さ、すなわち保護管径がφ2mmの場合、約30mm以上測定対象物に挿入してください。これは外気（保護管周辺）の温度影響を受けにくくするためです。

**⚠ 注 意**

※高い温度を測定する場合は、やけどにご注意ください。
※電源ONの状態ではセンサプローブは抜かないでください。

4）再度POWERキーを**1秒以上**押しますと、表示が消え本器の電源が切れます。

## HOLD／REL 機能

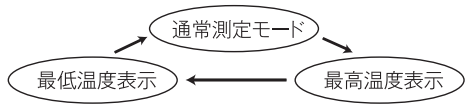
- 測定中、温度変化が激しい場合など、HOLDキーを押すことにより、メイン7セグメントの表示が固定され測定値の読みとりが容易になります。このとき、サブ7セグメントには現在の温度測定値を表示しておりますので、必要な温度データをホールドしながら、現在の温度変化がわかります。
- HOLDキーをもう一度押すとREL機能となり、固定した値からの変化量をメイン7セグメントに表示します。-199.9℃以下は“OL”表示になります。この間サブ7セグメントには、リアルタイム測定値が表示されます。測定値が変化するたびに、固定した値からの変化量をメイン7セグメントに表示します。
- 再度HOLDキーを押しますと、通常測定モードになります。

※HOLD及び現在温度（サブ7セグメント）表示の解除
HOLD表示のとき、SET／CLEARキーとHOLD／RELキーを同時に押しますとHOLD表示及び現在温度（サブ7セグメント）表示が消えます。解除する場合は、HOLD／RELキーを押しますと解除されると共にREL表示となり、もう一度HOLD／RELキーを押しますと通常測定モードになります。

## MAX／MIN 機能

● 最高温度・最低温度表示

1) 通常測定モード時にMAX／MINキーを一回押し、つぎにSET／CLEARキーを押すと最高・最低温度記憶がスタートします。
2) つぎにMAX／MINキーを押すことにより、最高・最低温度記憶スタート設定時点からの最低温度記憶値を表示します。
3) 再度、MAX／MINキーを押すことにより、1度、通常測定モードに戻ります。再度、MAX／MINキーを押すことにより、最高・最低温度記憶スタート設定時点からの最高温度記憶値を表示します。
4) 以降、右図のような順で測定ができます。




5) SET／CLEARキーを押すことにより、本器に記憶されている最高温度・最低温度値がクリアされます。本器は記憶データがクリアされた時点からの最高温度・最低温度を記憶スタートします。

※最高温度・最低温度表示中、サブ7セグメントには、現在温度を表示します。

● 最高温度・最低温度のアラーム設定

1) 通常測定モード時にSET／CLEARキーとMAX／MINキーを同時に押した時点でサブ7セグメントLCDに最高温度のアラーム設定ができもう一度SET／CLEARキーとMAX／MINキーを同時に押しますと最低温度のアラーム設定ができます。アラーム温度設定はUPキー、DOWNキーにて行ってください。
2) SET／CLEARキーを押すことにより“V”が表示し、アラーム設定モードになったことを表します。
3) アラーム設定の温度に到達しますと“V”が点滅すると共にブザー音にてお知らせします。
4) アラーム設定モードを解除するにはSET／CLEARキーを押してください。“V”表示が消滅します。
5) 通常測定モードに戻すにはSET／CLEARキーとMAX／MINキーを同時に押しますと通常測定モードに戻ります。

## オートパワーオフ機能

- 本器はキー操作を約30分間行わなかった場合、電源が自動的に切れます。電源切り忘れによる電池容量の消耗を防ぎます。
- オートパワーオフ機能が作動する場合は、右表のようになっております。

○印-作動する
×印-作動しない

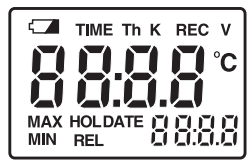
| | |
|---|---|
| 通常温度測定 | ○ |
| HOLD機能 | × |
| MAX／MIN機能 | × |
| マニュアル記憶 | ○ |
| オート記憶 | ×※ |

※オート記憶中は、インターバル設定によっては表示が消える場合があります。100データ終了後はオートパワーオフが作動します。

### 《オートパワーオフの解除手段》

1) POWERキーをONにします。

2) 右図のようなテストパターンが表示されます。




3) 右図のように管理ナンバーの表示が出ます。（約2秒間）
このときにSET／CLEARキーを押します。

4) 温度表示になります。
注：この連続使用状態でPOWERキーをOFFにしますと、またもとのオートパワーオフの状態に戻ります。

## データ記憶温度測定のしかた

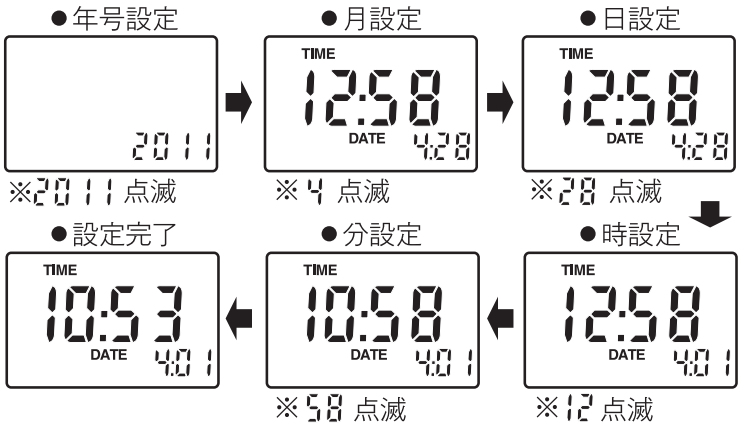
### 各種設定モードについて

設定モードに入ると変更可能な数値が点滅します。数字はUPキーまたはDOWNキーにて変更することができます。次の設定モードに進むか、終了するときはSET／CLEARキーを押してください。通常測定モードに戻ります。

### 時計設定

本器の電源がONのときにPOWERキーとTIMEキーを同時に押すことにより時計の設定が以下の手順でできます。各項目ごとに設定後SET／CLEARキーを押して、次に進んでください。

例：2011年4月1日10時53分設定




時計設定はマニュアル記憶モードおよびオート記憶モードどちらの使用時においても必要です。

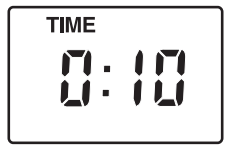
注意：時計設定をしないままマニュアル記憶、オート記憶を行った場合、初期設定の年、月、日、時計の値が記憶データに記録されます。

## 記録インターバル設定

本器の電源がONのときにPOWERキーとHOLD／RELキーを同時に押すことにより以下の図のように記録インターバルの設定ができます。

※ 記録インターバル設定はオート記憶モード使用時に必要です。

- 出荷時、記録インターバルは1分に設定されています。10分に設定したい場合、UPキーを押して、右図のように設定します。SET／CLEARキーを押しますと通常測定モードに戻ります。また、この場合の現在時刻が13：06ですと記録開始は毎正10分となっていますので13時10分から記憶を開始します。（下表参照）




（H：時間）

| 記録インターバル | 1分 | 2分 | 5分 | 10分 | 30分 | 1時間 | 2H | 4H | 6H | 12H | 24H |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記録開始 | 毎正1分 | | 毎正10分 | | | 毎正1時間 | | | | | |

## 管理ナンバー設定

本器の電源がONのときにPOWERキーとMAX／MINキーを同時に押すことにより管理ナンバーの設定ができます。

- 例 00---佐藤担当（誰が）
  99---実験室の保温箱（何を管理）
- 上記は、一つの例です。お客様のお考えでご利用ください。

※ 管理ナンバー設定はオート記憶モード使用時に利用できます。ナンバーは00~99まで2カ所設定可能です。

## 注意

※各種設定モードに入る場合、POWERキーとその他必要なキーを同時に押す必要があります。POWERキーのみを先に押した場合、本体の電源が切れてしまいますのでご注意ください。

## マニュアル記憶

本器の電源がONのときにRECキーを押すと現在の測定値が記憶されます。RECキーを押した瞬間、約0.5秒間REC表示とサブ7セグメントにファイルナンバーが表示されます。ファイルナンバーが150件を超えたときは、RECキーを押して、サブ7セグメントにFULLと表示されると共にピーというブザー音が鳴ります。以降の測定値は記憶されません。

記憶データ操作中、電源をOFFにしても記憶ファイルは保持され、もう一度電源ONで、記憶ファイルは継続されます。

- **記憶データの呼び出し**

  本器に記憶データがある場合、TIMEキーを1秒以上押しますと、サブ7セグメントに記憶されたファイルナンバー、メイン7セグメントに記憶温度値を表示します。温度値及びファイルナンバーの表示は第1ファイルから記憶順ごとに表示します。TIMEキーを一度押し、再度押し続けるとファイルナンバー及び温度値が早送りできます。

  SET／CLEARキーを押すと通常温度測定モードに戻ります。

  もう一度記憶データを確認したい場合は、同じ操作を繰り返してください。

**注意**：本器に前回の記憶データが残っていますと新たに、電源をOFFにしても記憶モード設定ができませんので、通常温度測定表示中に、POWERキーとSET／CLEARキーを同時に押し、次にSET／CLEARキーのみを押し記憶データをクリアしてください。オート記憶モードの場合も同じです。

## オート記憶

本器の電源がONのときにRECキーとMAX／MINキーを同時に押すと測定値の記憶がスタートします。なお、REC表示とサブ7セグメントにファイルナンバーが表示されます。ファイルナンバーが100件を超えたときに、RECキーを押すと、FULLと表示されると共にピーというブザー音が鳴ります。
以降の測定値は記憶されません。

- **記憶データの呼び出し**
  本器に記憶データがある場合、TIMEキーを1秒以上押しますと、サブ7セグメントに測定された時刻、メイン7セグメントにその時刻の測定値及び、その時刻までのインターバルの最高温度値、最低温度値、の順で表示します。記憶温度値及び測定時刻の表示は第1ファイルから記憶順ごとに表示します。TIMEキーを一度押し、再度押し続けると測定された時刻及びその時刻の測定値、最高温度値、最低温度値が早送りできます。
  SET／CLEARキーを押すと通常温度測定モードに戻ります。
  もう一度記憶データを確認したい場合は、同じ操作を繰り返してください。

**注意**：記憶途中で終了し、記憶データを確認したい場合は、RECキーを押すと、RECとファイルナンバー表示が消え記憶を中止します。その後上記の記憶確認の操作を行ってください。

**注意**：オート記憶モードからマニュアル記憶モードへそのままでは移行できません。本器に残っている記憶データを以下の操作でクリアしてください。通常温測定表示中に、POWERキーとSET／CLEARキーを同時に押し、次にSET／CLEARキーのみを押しますと記憶データはクリアされます。この後マニュアル記憶設定をすることができます。

※記録インターバル設定については取説P15に記載されていますがその設定した後の経過表示が、次ページの表のようになります。

- RECをスタートさせた時間に対してパワーオートオフの時間が経過した後、液晶表示がいったん消えます。

（但し連続表示は除外します）その後はインターバル設定により表示、オン・オフを繰り返して100データまでデータをとり続けます。インターバルの設定時間が長くなるほど表示が消えている時間も長くなっていますが、表示不良ではありません。

**注意**：オート記憶の終了時には下記事項をご確認の上取り扱ってください。

1：終了時には必ず先に本体の電源をOFFにしてください。
電池または、ACアダプター使用のどちらも同様の処置をしてください。

2：ACアダプターでONのまま終了させる場合には、必ず本体と接続されていますプラグを先に抜いてください。但し、この場合でも本体に電池がセットされていることが必要です。

3：ONのままでACアダプターの100V電源を先に抜きますと、強制終了の形になりデータが消去されます。

| 記録インターバル | 1分<br>2分 | 5分<br>10分 | 30分 | 1時間 | 2H | 4H | 6H 12H<br>24H |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記録開始 | 毎正1分 | 毎正10分 | | 毎正1時間 | | | |
| 表示間隔時間 | 連続表示 | | 30<br>秒毎 | 1<br>分毎 | 2<br>分毎 | 5<br>分毎 | 10<br>分毎 |
| 表示時間 | ——— | | 約7秒間 | | | | |

（H：時間）

● オート記憶をご使用中に電池が少なくなったり、また何らかの事情で電源を切り替える場合、下記の内容に注意してください。
（1）電池からACアダプターに切替えるとき。
（2）ACアダプターから電池に切替えるとき。
（3）電池を交換するとき。

上記(1)～(3)のいずれかにおいても電源を切替える場合は、必ず本体操作ボタンのPOWERキーをOFFの状態にしてから行ってください。

（約50秒以内）その後POWERキーをONにすればデータは消えないで継続して作動しています。

もし、POWERキーをOFFにしないで交換、切替え操作を行いますと、オート記憶が停止などの誤作動、または誤表示することがありますので絶対にしないでください。

# 記憶データのプリンタ印字方法

## 本器とプリンタの接続

1) 本器の電源とプリンタの電源が切れていることを確認しプリンタ接続ケーブルをプリンタと本器プリンタ接続端子に接続してください。(P.7参照)
2) プリンタ付属の説明書をよくお読みください。
プリンタは、専用プリンタ(オプション)となります。
3) お求めは、お買いあげ店または弊社サービスネットワークにおたずねください。

## プリントアウトの方法

1) プリンタの電源がONになっている事を確認してください。
2) 本器の電源がONのときにPOWERキーとRECキーを同時に押すと、"P"が表示されプリンタが印字を開始します。
3) 印字データは第1ファイルから最終ファイルまで出力します。
4) プリント後も、本体にデータは残っています。

## マニュアル、オート記憶印字例

●マニュアル記憶印字例

プリント日時　2010年9月23日
カンリナンバー No:07-27 (℃)

| ファイル | 月 日 | 時 分 | |
|---|---|---|---|
| 001 | 9/23 | 11:52 | 25.9 |
| 002 | 9/23 | 11:58 | 25.0 |
| 003 | 9/23 | 12:35 | 25.7 |
| 004 | 9/23 | 12:37 | 25.1 |
| 005 | 9/23 | 12:45 | 25.1 |
| 006 | 9/23 | 12:46 | 25.0 |
| 007 | 9/23 | 12:47 | 24.5 |
| 008 | 9/23 | 12:48 | 25.5 |
| 009 | 9/23 | 12:58 | 26.9 |

●オート記憶印字例(記録インターバル2分の場合)

プリント日時　2010年9月22日
カンリナンバー No:02-05 (℃)

| ファイル | 月 日 | 時 分 | | MAX | MIN |
|---|---|---|---|---|---|
| 001 | 9/22 | 11:31 | 25.9 | 25.9 | 25.0 |
| 002 | 9/22 | 11:33 | 25.0 | 33.1 | 25.0 |
| 003 | 9/22 | 11:35 | 25.7 | 25.7 | 25.1 |
| 004 | 9/22 | 11:37 | 25.1 | 25.1 | 25.0 |
| 005 | 9/22 | 11:39 | 25.1 | 25.1 | 25.0 |
| 006 | 9/22 | 11:41 | 25.0 | 39.9 | 20.3 |
| 007 | 9/22 | 11:43 | 24.5 | 72.5 | 24.5 |
| 008 | 9/22 | 11:45 | 25.5 | 87.6 | 25.5 |
| 009 | 9/22 | 11:47 | 26.9 | 32.4 | 26.8 |

注意：文字の書体及び大きさは、実物と異なります。

## 本器のエラー表示について

● エラー表示はメイン7セグメントLCD部に表示されます。

| エラー表示 | 原因 | 対策 |
|---|---|---|
| OL | 測定温度が測定範囲を超えている。 | すみやかにプローブを測定対象から取り外し、測定範囲内に戻してください。 |
| ---- | プローブが接続されていない。 | プローブを正しく接続してください。 |
| | センサが断線している。 | プローブの接続が悪いかプローブ内部での断線です。断線と考えられる場合は使用を中止してください。 |
| | プローブ内部でショートしている。 | 使用を中止してください。 |

## オプションセンサのご紹介

● センサには下記の種類のものが用意されています。使用目的に合わせセンサをお選びください。その他特注センサについても製作いたします。

**サーミスタ**　コード1.1m付（SK-S102Tを除く）

- SK-S100T　標準センサ
  液体、粘性体、半固体用
  -30～199.9℃　φ2×100mm
- SK-S101T　食品、ゴム質用
  先トガリ、
  液体、粘性体、半固体用
  -30～199.9℃　φ3×100mm
- SK-S101WT　先トガリセンサ
  （食品用防水型、低温）
  -30～199.9℃　φ3×120mm
- SK-S102T　耐圧、水温測定用
  コード10m付（醸造、水産）
  -30～100℃　φ17×123mm
- SK-S103T　直腸温度測定用
  30.0～50.0℃　φ3×110mm
- SK-S201T　空気測定用
  （オフィス、倉庫）
  -30～150.0℃　φ5×21mm+φ2×80mm
  （先端部）

**熱電対（K）** コード1.1m付（SK-S105K、SK-S304Kを除く）

※クラス1表記以外のものはクラス2です。

- SK-S100K 標準センサ
  液体、粘性体、半固体用
  -100～300℃ φ2.3×150mm
  （クラス1）
- SK-S100WK 食品用防水型センサ（低温）
  -100～300℃ φ2.3×150mm
  （クラス1）
- SK-S101K 一般計測用
  液体、粘性体、半固体用
  -100～700℃ φ3.2×250mm
  （クラス1）
- SK-S102K 中･高温用センサ
  粘性体、半固体用
  0～800℃ φ4.8×500mm
  （クラス1）
- SK-S103K アスファルト用先トガリ
  （オールステンレス、耐熱コード付）
  0～300℃ φ5×250mm
- SK-S104K 高感度測定用
  液体、粘性体、
  -100～300℃ φ1×1000mm
- SK-S105K デープレックス
  ワイヤーセンサステンシールド
  コード0.3m付
  -100～300℃ φ0.65×10m
- SK-S106K アスファルト用
  （取手樹脂）先トガリ
  0～300℃ φ5×250mm
- SK-S107K 高温用センサ
  0～1000℃ φ4.8×1000mm
  （クラス1）（材質：インコネル）
- SK-S108K 堆肥用
  0～300℃ φ8×900mm
- SK-S109K アスファルト用
  0～300℃ φ5×250mm
- SK-S301K 静止表面用（中温）
  0～600℃ 先端部φ25×40mm
- SK-S302K 静止表面用
  （ロングサイズ･中温）
  0～600℃ 先端部φ17×21mm
- SK-S303K 静止表面用L型
  （中高温）
  0～800℃ 先端部φ10×12mm
- SK-S304K 静止表面貼付用
  0～300℃ 17×14×t0.6
  耐熱コード3m付
- SK-S305K 静止表面用
  （90°角度可変、中温）
  -30～500℃ 先端部φ17×36mm
- SK-S306K 静止表面用（低温）
  -30～250℃ 先端部φ10×12mm
- SK-S307K 静止表面用
  （一般計測、低温）
  -30～400℃ 先端部φ17×25mm
- SK-S308K 静止表面用
  （L型センサ、中温）
  -30～600℃ 先端部φ17×30mm
- SK-S401K 曲面表面用（パイプ等）
  0～250℃ 先端部30×35×60mm
- SK-S402K 回転表面用（ローラ型）
  0～300℃ 先端部25×50×25mm
- SK-S403K 静止表面用
  （マグネット型）
  0～200℃ 先端部φ30×12mm

## その他のオプション

- SK-1250MCⅢシリーズ・SK-1260用ACアダプタMC-AD06150-1
  DC6V 150mA以上
- 専用プリンタ（ACアダプタ付）

## 仕様

| | | |
|---|---|---|
| 製品名 | | 防水型デジタル温度計 |
| 型式 | | SK-1260 |
| 製品番号 | | No.8080-05（センサツキ） |
| 測定範囲 | | サーミスタ　-30.0～199.9℃ |
| | | 熱電対(K)　-99.9～ 1250℃ |
| 分解能 | | サーミスタ　-30.0～199.9℃ ： 0.1℃ |
| | | 熱電対(K)　-99.9～199.9℃ ： 0.1℃<br>200～ 1250℃ ：　1℃ |
| 測定精度 | | サーミスタ<br>●本体精度　±0.2℃<br>●センサ精度±(0.1%rdg+0.2℃)/0.0～150.0℃<br>±(0.2%rdg+0.4℃)/-30.0～-0.1、150.1～199.9℃ |
| | | 熱電対(K)<br>●本体精度<br>・0.0～199.9℃　±(0.1%rdg+0.3℃)<br>・-99.9～-0.1℃　±0.5℃<br>・200～1250℃　±(0.2%rdg+1℃)<br>●SK-S100Kセンサ精度(-100～300℃)<br>クラス1(JIS)<br>±1.5℃ /-40℃以上375℃未満<br>±0.004・\|t\|/375℃以上1000℃未満 |
| 記憶件数 | | マニュアル記憶：150件　オート記憶：100件 |
| 接続可能センサ | | サーミスタ、熱電対(K) |
| 防水性※ | | JIS C 0920「保護等級IPX4」に準拠 |
| 電源 | | 単4形乾電池×4本・ACアダプタ(オプション) |
| 電池寿命 | | マンガン：連続180時間　アルカリ：連続280時間 |
| 材質 | 本体 | ABS樹脂 |
| | 標準センサプローブ | 感温部：ステンレス(SUS316)<br>握手部：耐熱ABS樹脂 |
| 外形寸法 | | H175×W66×D25mm |
| 本体質量 | | 約0.2kg(電池含む) |
| 付属品 | | ●本体ソフトケース　●標準センサ(SK-S100K)1本<br>●マンガン乾電池(4本)　●検査合格証1枚<br>●取扱説明書1冊　●お客様製品登録のお願い1枚 |

※防水性とはセンサ接続時に依るものです。

## 仕様

| | | |
|---|---|---|
| 製品名 | | 防水型デジタル温度計 |
| 型式 | | SK-1260 |
| 製品番号 | | No.8080-00（センサナシ） |
| 測定範囲 | | ← |
| | | ← |
| 分解能 | | ← |
| | | ← |
| 測定精度 | | ← |
| | | 熱電対（K）<br>●本体精度<br>←<br>●センサ精度<br>※センサ精度は接続するオプションセンサの型番で異なります。 |
| 記憶件数 | | ← |
| 接続可能センサ | | ← |
| 防水性※ | | |
| 電源 | | ← |
| 電池寿命 | | ← |
| 材質 | 本体 | ← |
| | 標準センサプローブ | |
| 外形寸法 | | ← |
| 本体質量 | | ← |
| 付属品 | | ●本体ソフトケース ●マンガン乾電池（4本）<br>●検査合格証1枚 ●取扱説明書1冊<br>●お客様製品登録のお願い1枚 |

## 保証規定

1) 取扱説明書の注意にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買いあげ後1年間、無償で修理または交換させていただきます。その他の責はご容赦願います。
2) 修理の必要が生じた場合は製品に本証を添えて、お買いあげ店または弊社サービスネットワークにご持参またはご送付ください。
3) 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
   イ. 誤用、乱用および取扱不注意による故障
   ロ. 火災・地震・水害等の災害による故障
   ハ. 不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
   ニ. 使用中に生じた傷等の外観上の変化
   ホ. 消耗品および付属品の交換
   ヘ. 本証の提示がない場合および必要事項（お買いあげ日、販売店名等）の記入がない場合
4) 本証は日本国内でのみ有効です。また、本証は再発行いたしません。

**品質保証書**

本保証書はアフターサービスの際に必要となります。お手数でも※印箇所にご記入のうえ本器の最終ご使用者のお手許に保管してください。

品名　防水型デジタル温度計　　型式　SK-1260

※お客様名

※ご住所　　※TEL　（　　）

*以下につきましては、必ず販売店にてご記入捺印ください。

お買いあげ店名　　㊞

ご住所　　TEL　（　　）

お買いあげ年月日　　年　月　日

SK 㐂佐藤計量器製作所
〒101-0037
東京都千代田区神田西福田町3番地
☎03-3254-8111　FAX 03-3254-8123

## サービスネットワーク

| | | |
|---|---|---|
| 本　　社 | 東京都千代田区神田西福田町3番地 | 〒101-0037 |
| | TEL 03-3254-8111 | FAX 03-3254-8123 |
| 本社営業部 | 東京都千代田区神田西福田町3番地 | 〒101-0037 |
| | TEL 03-3254-8110 | FAX 03-3254-8119 |
| 東京営業所 | 東京都板橋区南常盤台2-9-18 | 〒174-0072 |
| | TEL 03-3958-2351 | FAX 03-3957-5986 |
| 大阪支社 | 大阪市中央区内平野町2-1-10 | 〒540-0037 |
| | TEL 06-6944-0921 | FAX 06-6944-0926 |
| 札幌営業所 | 札幌市北区北20条西4-2-17 | 〒001-0020 |
| | TEL 011-758-0051 | FAX 011-758-0065 |
| 仙台営業所 | 宮城県柴田郡村田町西ケ丘25-1 | 〒989-1304 |
| | TEL 0224-83-4781 | FAX 0224-83-4770 |
| 名古屋営業所 | 名古屋市中区大須1-3-16 | 〒460-0011 |
| | TEL 052-204-1234 | FAX 052-204-1123 |
| 富山営業所 | 富山県富山市二口町5-2-3 | 〒939-8211 |
| | TEL 076-494-3088 | FAX 076-494-3090 |
| 福岡営業所 | 福岡市博多区博多駅前4-18-26 | 〒812-0011 |
| | TEL 092-451-1685 | FAX 092-451-1688 |

URL：http://www.sksato.co.jp/

●万一製造上の不備がありました場合は新しい商品とお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦願います。

株式会社佐藤計量器製作所